

令和4年度 自己評価報告書 (本編)

評価対象期間：

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(専門学校における評価ガイドライン

平成25年3月 生涯学習政策局 準拠版)

令和4年8月8日

準学校法人古藤学園 浦和専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	4
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	5
1-1 理念・目的・育成人材像.....	6
基準2 学校運営.....	7
2-2 運営方針.....	8
2-3 事業計画.....	9
2-4 運営組織.....	10
2-5 人事・給与制度.....	11
2-6 意思決定システム.....	12
2-7 情報システム.....	13
基準3 教育活動.....	14
3-8 目標の設定.....	15
3-9 教育方法・評価等.....	16
3-10 成績評価・単位認定等.....	17
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	18
3-12 教員・教員組織.....	19
基準4 学修支援.....	20
4-13 就職率.....	21
4-14 資格・免許の取得率.....	22
4-15 卒業生の社会的評価.....	23

基準5 学生支援.....	24
5-16 就職等進路.....	25
5-17 中途退学への対応.....	26
5-18 学生相談.....	27
5-19 学生生活.....	28
5-20 保護者との連携.....	29
5-21 卒業生・社会人.....	30
基準6 教育環境.....	31
6-22 施設・設備等.....	32
6-23 学外実習、インターンシップ等.....	33
6-24 防災・安全管理.....	34
基準7 学生の募集と受入れ.....	35
7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	36
7-26 入学選考.....	37
7-27 学納金.....	38
基準8 財務.....	39
8-28 財務基盤.....	40
8-29 予算・収支計画.....	41
8-30 監査.....	42
8-31 財務情報の公開.....	43

基準 9	法令等の遵守.....	44		
			9-32	関係法令、設置基準等の遵守..... 45
			9-33	個人情報保護..... 46
			9-34	学校評価 47
			9-35	教育情報の公開..... 48
基準 10	社会貢献・地域貢献	49		
			10-36	社会貢献・地域貢献..... 50
			10-37	ボランティア活動..... 51
基準 11	国際交流.....	52		
			11-38	受け入れ..... 53
参考付表	評価委員会組織図.....	54		

(目標策定 2020年 3月31日 自己評価実施 2022年 7月1日－8月3日)

教育目標と本年度の重点. 目標の評価

学校の教育理念・目標	令和3年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>本校は、誠実・協調・雄飛を校訓とし、これらを総合した人間性の実践を教育理念とする。</p> <p>学生たちに医療人或いは商業人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会において学識と誇りをもって、誠実に責務を果たす人材を育成する。</p> <p>本校では、職業分野における専門性を身に付けることはもちろん重要であるが、グローバル化時代の広い視野に立って得られる高度な知識と技術を、その根底に必要な人間性やモラルを、そして豊かな人間性をも合わせ持つ「次代の職業人」の育成に努めている。</p>	<p>本校が育てる医療人或いは商業人を取り巻く環境の大きな変化を認識し、その活躍が期待できる領域として、健康維持・増進・予防医学やリハビリ分野、或いは情報・IT技術の進歩が著しい商業・サービス業分野に注目して目標を立てる。</p> <p>それぞれの領域で必要とされる知識と技術も身につけた上で、優れた人間性を備え、新しい時代の業界で高い力量を発揮して社会に貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>本年度も新型コロナウイルス感染症が蔓延し、引き続き本校の医療科学生も商業実務課程の留学生も勉学と生活の両面で厳しい脅威に直面している。</p> <p>学生たちの安全と健康を確保し、なおかつ学業目標を達成するために、本校教職員は一層の緊張感と意欲をもって成果をあげることが求められる。</p>	<p>健康維持・増進・予防医学やリハビリ分野については正しい身体機能のしくみの理解と実践応用、医療器具・機械の正確な操作、そして国家試験の全員合格を最重点目標としたが、3年度の鍼灸科合格率は66%、視能訓練士科は100%であった。</p> <p>商業実務課程は今のところ学生全員が留学生という状況にあるが、情報・IT技術の進歩が著しい商業・サービス業分野において、ITとコミュニケーション技術の堅実な習得から、就職率80%超だった。</p> <p>コロナ対策は、幸いにも年度初めから新しくクリーンな本校舎が完成し、東校舎とともに、衛生的環境を整え、全教職員が一致協力して予防対策を実行できた。</p>	<p>医療課程学科はコロナ禍にあっても雇用はさほど打撃を受けない。基本技術の忠実な取得に加えて、時代を癒せる精神的な成熟を目指す指導を心がけている。令和4年度は、新築成った本校舎という抜群の好環境で勉学に集中できるので、両科とも国家試験合格率100%に復帰すべく励み、手応えは充分にある。</p> <p>就活に関しては、医療2科は国家試験合格が先決で、手応えは充分にある。</p> <p>情報2科は受入れ業界の一部に雇止め等の動きがあるが、マクロ的には日本の人手不足は進行中であるので、学生と共に粘り強く活動が続ければ活路は開けると信じる。</p> <p>新型コロナについては学生も教職員も2年以上闘ってきた経験が教訓となり大きな財産となっている。マスク、手洗い、検温など毎日のルーチンの凡事徹底であり、好作用として学内の規律を向上することができた。</p> <p>学内全員協力してあたれば、怖いものはない。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松本 正
--------	-------------	-------	------

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、誠実・協調・雄飛を校訓とし、これらを総合した人間性の実践を教育理念とする。</p> <p>学生たちに医療人や商業人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会において学識と誇りをもって、誠実に責務を果たす人材を育成する。</p> <p>本校では、職業分野における専門性を身に付けることはもちろん重要であるが、グローバル化時代の広い視野に立って得られる高度な知識と技術を、その根底に必要な人間性やモラルを、そして豊かな人間性をも併せ持つ「次代の職業人」の育成に努めている。</p> <p>教育理念に基づき、本校の教育目標を次のように定めている。</p> <p>① 人間性：人間性豊かな医療業界・商業界のリーダーを育成。</p> <p>② ホスピタリティー（思いやりの心）：職業人としての使命感と社会に貢献できる力を身につける。</p> <p>③ 実践力：各職業分野における現代のニーズに即した実践的かつ専門的な知識・技術の修得。</p>	<p>本校は、医療課程の鍼灸科午前部・鍼灸科午後部・鍼灸科夜間部、視能訓練士科と商業実務課程の情報IT科、情報ビジネス科、ライフデザイン科、ワークライフ科を擁する。</p> <p>他と明確に違う特徴の1は、各科のタイムシェアが明確であること。すなわち午前部の視能訓練士科、昼間部の情報IT科、情報ビジネス科、午後部の鍼灸科、鍼灸科夜間部、ライフデザイン科、ワークライフ科の構成である。</p> <p>2は各科の年齢構成、キャラクター構成がかなり明別されていること。すなわち視能訓練士科は高校新卒の19才から20代、鍼灸科は社会人経験を経た30-40代、商業実務課程各科は東南アジア各国からの20代留学生が多いことである。</p> <p>かような時間と学生の構成は、本校の「明るく外向的で、友情と人間的温かみにあふれ、夜まで活気がある」独特の校風を醸している。</p> <p>3は、本校が専門学校と名乗るからには、職業に役立つ専門をしっかり身につけさせ、卒業生全員が希望する企業・機関への就職を果たすべく、専門性と社会性の両面から指導できる人材として、社会人経験の豊富な教職員を多く配していることがある。</p> <p>医療課程2科は、国試合格と、医療機関・法人に就職ないしは自立自営と目的意識が明確であり、担当教員のチームワークに磨きがかかり、学生ともども良くまとまって励んでいる。</p> <p>情報2科も、学校の評判が高まるにつれ入試競争率が上がり年々入学志望者がレベルアップし、勉学意欲・就職意欲は確実に向上している。新校舎の快適な環境で授業での集中度が年々高まり、教員のやりがいも高まっている。理想の学修環境に近づいていると言ってよい。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松本 正
--------	-------------	-------	------

1-1 理念・目的・育成人材像

1-1 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	医療人または商業人を養成する施設として、理念・目的・育成人材像は、わかりやすい表現で明確に定める。	本校の目的は、学則第1条と学校案内に明記し、理事長・校長のメッセージとして分かりやすく解説している。	学校説明会、オリエンテーション、高校訪問、ホームページ更新などを通じて小まめに啓蒙・啓発を行う。	浦和専門学校 学則 浦和専門学校 学校案内
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	専門分野に関する業界情報を常に把握して、時代に即し、業界等の人材ニーズに応じるための教育を行うべきである。	医療課程については、眼科医院や鍼灸療術院、介護産業等と密接に情報交換し、時代の要望に適応できる人材を輩出できるよう指導している。	入学生のほぼ全員が学校説明会を経由しており、入学前説明で育成人材像の認識を励行している。入学後の再教育も授業を通じて行い、実業界と遊離した環境にはしない。	浦和専門学校 学校案内 学校ホームページ
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	理念等の達成に向けて、時代に即した特色ある教育活動に取り組むべきである。	既存分野に捉われず、新しい分野や異業種で経験と実績を積んだ専門家にも声をかけ、講師として迎え入れ、多層的な教育を行っている。	医療課程は教員の人材難が続いたが、本年度から漸く規定以上の人員を確保できた。採用時にも人格と意欲の優れた人材を選抜した。今後の教育効果向上が期待できる。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	業界の専門分野に対する社会のニーズならびに、外的・内的環境を把握し、専門分野の可能性を高める努力をする。	現役の臨床家や実務経験のある教員を教育課程編成の主力として任用し、業界の動向を踏まえた教育の実践に努力している。	学生たちに随時ヒアリングを試み、毎月の学科会議等で教員たちは情報の交換・共有を行い、授業にフィードバックする。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像について明確に定め、学校案内やホームページを通して学内外への周知に努めている。入学生の属性の変化や社会のニーズを反映した人材育成を実施している。	学校創設より現在まで、校訓と教育理念は変わりなく引き継がれており、育成人材像については、適宜、学生の変化や社会のニーズに対応できるよう改善に取り組んでいる。本年度は新型コロナ禍のなか就職状況がより厳しくなっている。だからこそ、実社会に早く適応し役に立てる人材を育てる目標が明確に見えており、教育効果も却って上がりやすくなっている。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松本 正
--------	-------------	-------	------

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営について、毎年度部門毎に事業計画書、年度末には事業報告書を作成し、理事会、評議員会の承認を得て実施している。</p> <p>学校運営組織として、毎月各学科の専任教員で構成する学科会議や教職員会議、校長・学科長・事務局長等で構成される教務会を開催している。</p> <p>また、校内の情報伝達や情報共有は学内メール網を活用し、円滑な学校運営に必要な情報を共有しながら各部門が業務に取り組んでいる。</p> <p>掲示板やホームページを随時更新し、学内で実施されている活動を学内のみならず、学外にも分かりやすく伝えている。</p>	<p>教務会の下部組織として、医療課程では国家試験対策委員会や認定実技試験委員会等の組織を設置し、商業実務課程では月1回以上の授業・生活向上会議で情報共有する事により、細部に渡り、より良い教育の実践を目指している。</p> <p>従来 of 教員主体の委員会構成だけではなく、随時に事務職員が加わることで 様々な意見を集約し、教職員が一致協力し組織的、機動的な学校運営が行われるようにする学校運営を目指している。</p> <p>また、資格取得のみに偏らず、職業教育などを通じて学生各人の個別経験・体験が卒業後の進路に役立つように、きめ細かい指導を行っている。</p> <p>今年度は新築の本校舎と東校舎の両校舎体制が実現し、新学科が増え、教員も増員し、学校は充実の一途にある。学校運営の要となる教務会は、気を引き締めて一層の活性化を図らねばならない。</p> <p>今年度もコロナ禍という状況ではあるが、定期的に学生管理会議等を開催し、教職員の情報と意識の共有に努めてきた。特に出席率の向上に向けた粘り強い学生指導により、各学年、学科ともコロナがあっても最低でも80%以上の出席率を確保できるようにした。また東校舎への移転から学内LANを積極活用し、事務局と学科長そしてクラス担任への学内連絡、通達が遅滞なく発信できているのは大きな進歩である。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	高橋 良広
--------	-------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿って運営方針を定めているか	学園理事会、評議員会において承認された年次事業計画年次予算に基づき運営する。	学園規則（学則、履修規程）については、社会の状況と変化に応じ、理事会で常に検討を行い、所管官庁への変更申請と承認受理後の整備を行っている。 また、学則に基づく部門の規則についても常に見直し実施している。	常に変化する社会ニーズを分析し把握する。 行政が発信する情報を常に注視し、学校評価委員会等の整備によって、専門家や外部の意見を入れて改善を行う。	理事会議事録 評議員会議事録 2022年度資金収支予算書 2022年度事業活動収支予算書 2022年度事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度作成している事業計画書は正当なプロセスで理事会に承認され、この事業計画書に沿って学校運営方針は定められている。 学校運営方針の校内への周知についてはメール配信や会議により、全教職員に開示し、共有されている。	
毎年度作成している事業計画書は正当なプロセスで理事会に承認され、この事業計画書に沿って学校運営方針は定められている。 学校運営方針の校内への周知についてはメール配信や会議により、全教職員に開示し、共有されている。	全教員への周知が不足している。両校舎体制になってお互いに迂遠にならぬよう、もっと活性化を図らねばならない。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

高橋 良広

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	年度毎に資金収支予算書、事業活動収支予算書を作成し、事業計画を定めている。学園理事会、評議員会にて承認を得る。	毎年度、部門毎に予算書と事業計画書を作成し、年度の終わりに検証を行う。事業報告書にまとめて、理事会、評議員会の承認を受け、公表している。	当学園の事業の変遷に通暁した理事会と教職員により、適正に計画されているが、時代の変化は急激であり、より柔軟で前向きな対応が望まれる。	2021年度事業報告書 2022年度事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度、部門毎における資金収支予算書、事業活動収支予算書、事業計画書ならびに事業報告書を作成している。計画書、報告書は学園理事会、評議員会において承認を受け、公表、実行されている。	学校経営は順調であり、校舎施設が増強され、意欲をもって事業の健全な拡大に取り組んでいる。適正なプロセスを経て計画され実行されている

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	高橋 良広
--------	-------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	学校運営の状況を考慮し、法人部の主導で計画的に人員の確保及び配置を行う。 給与制度は学園の教職員給与規程に基づき適切に運用する。	学校運営の状況を考慮し、法人部において人員の確保及び配置を行っている。 給与は学園の教職員給与規程に基づき支給している。	複数人の合議による公正な制度整備と運営が行われるようになった。	教職員就業規則 非常勤講師就業規則 給与規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事及び賃金に関する規程は、学校法人古藤学園による教職員就業規則、非常勤講師就業規則と給与規程で定め、整備している。	3年前より旧弊な体制から脱却して、規程は正しく運用され、公平で適切な配分が行われるように改善された。 改正労働法に沿った、かつ、学校の実情に沿った更新、整備を進めたい。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

高橋 良広

2-6 意思決定システム

2-6 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	学校法人古藤学園寄附行為に基づき、理事会を中心とした意思決定システムを構築する。	学園においては、寄附行為及び事務分掌規程に基づき、意思決定の階層、権限を明確にしている。 学校においては、それぞれの学則に基づき、意思決定を実施している。	意思決定の迅速化を図るためシステムの電子化による効率化・共有化を図る。	古藤学園寄附行為 浦和専門学校学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
起案は事業計画に基づいて各担当者が行い、各部署の決裁順序に従って原議書決裁することにより意思決定を図っている。	各部門（学校）に事務局長を配置し、起案、合議、決裁の流れを良くすることにより、学校運営に関する起案に対して迅速で的確な対応が可能となっている。 原議規則を遵守し、遅滞なく手続きを進める。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	高橋 良広
--------	-------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	学園全体及び学校内でのネットワーク構築により、業務の迅速化、効率化を図る。	学籍管理システムならびに、学校内でのネットワーク化の構築を進めており、情報の共有、業務の効率化を図っている。	古藤学園の情報ネットワークの共通化。ネットワークセキュリティの強化。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業務の効率化を図るため、学校内ネットワークを構築し、情報共有や業務の迅速化、効率化を図っている。	個人情報保護などセキュリティの観点から、学生の情報管理用にインターネットを含むLANネットワークとの接続を遮断した専用パソコンを導入している。データのバックアップ体制を構築している。 外部侵入等のリスクを低減するためセキュリティの強化を図っている。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	高橋 良広
--------	-------------	-------	-------

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>全体目標として教務会および各学科が示す教育指針と毎年の目標を定め、医療或いは商業実務を学ぶ姿勢や、学生としての身だしなみ、言葉遣い等の躰教育にも取り組んでおり、業界のニーズに応える社会人教育を行っている。</p> <p>鍼灸科、視能訓練士科、情報IT科、情報ビジネス科ともに、基礎分野および専門基礎分野の担当者の意見を取り入れ、全教員に対する意思統一を持って取り組む。これは各担当の年間教育にとどまらず在校中の3年間での専門教育の達成を目指している。</p> <p>カリキュラムに関しては、法令の定めるもの即ち「はり師およびきゅう師に関する法律施行令」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、およびきゅう師に係る学校養成施設認定規則」「視能訓練士法」、商業実務課程においては専修学校設置基準に基づき指定単位数以上の単位取得をさせている。</p> <p>基礎医学としての西洋医学を十分に学び、鍼灸科はそこに東洋医学の知識、技術を積み上げる。西洋医学的な治療法だけでは対応できない患者を、東洋医学のみに偏らず西洋医学の医療機関と協力して鍼灸治療が実践できるような、信頼される鍼灸師に育てる教育を目指す。視能訓練士科も基礎医学や専門科目を十分に修得し、眼科医院、病院で即戦力となりうる人材を育成する。</p> <p>医療両科とも、国家試験合格率 100%を目標とし国家試験対策委員会により、模擬試験、実力試験等を実施・フィードバックし、学生の学習習熟度を高めている。</p> <p>情報IT科、情報ビジネス科にあつては、ITとコミュニケーション技術の堅実な習得から、過去に低迷していた就職率の「3年で80%計画」をかかげ、学生の意識改革を進めつつ、実効を上げている。</p>	<p>各業界の動向を毎年度確認し、時流に沿った教育目標を定めるとともに授業シラバスも年度前に作成して、学生への学習意欲向上と実践的な知識と技術が融合して将来の臨床現場で知恵を働かすことができる応用力のある学生を育てることを実践している。</p> <p>各施行令、学校養成施設認定規則等の資格取得指定単位以外にも、本校独自のゼミナール科目を設け、業界団体および外部企業等からの講師を招聘し、より実践的な知識や技術を伝授する機会の提供をしている。実施後はアンケート等を実施し、それらの結果を活かしながら今後学生がより興味を持ち積極的に参加できる環境を整備しているところである。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	権名賢太郎
--------	-------------	-------	-------

3-8 目標の設定

3-8 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	業界等と連携を図ることにより業界の求められる人物像を把握し、目標レベルに近づけるように教育課程編成ならびに実施方針を定める。	教育課程編成委員に業界関係者を配置し、業界の求められる人物像に則した教育課程の編成方針や実施方針を定める。	学生個人が目指している人物像と業界が求める人物像に差異がみられる。学生がいかにかこのことを理解し納得して就学意欲に結び付けられるかが課題である。	ウ. の原因としても共通で考えられるのは資格免許に対する学生の認識の甘さである。 1年次より各教員が科目教科の垣根を越えて徹底している。
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学科毎の修業年限に応じた教育達成レベルを明確に（成文化）し運営する。詳細についてはシラバスで明記する。	学年毎の知識ならびに実技の達成レベルを明確にし、その内容はシラバス等に明記している。	全科目、全授業担当者別に詳細なシラバス提出を義務付けているが、学生の理解度に偏りが見られる為、今後は内容にある程度の幅を持った進行が必要である。	全学年、通常授業および集中授業のほかに成績不良者のみならず優秀者に対しても個別指導や補講を行うなど、技術科目、座学と反復実習、またを実施している。

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>多様化する業界の求められる人物像を2年間または3年間で完全に教授することは困難であるため、限られた教育期間で就業に必要な基礎的な知識・技術の修得を目指す教育課程を編成している。</p> <p>具体的な授業内容については、到達目標、知識・技能の標準、評価の基準を明示し、学生に公表している。</p>	<p>業界の求められる人物像に対しては、職業教育や外部講師による特別授業、就職ガイダンスの実施などの活動を通じて、自身の卒後にどのような道に進むのが最適であるか考察する時間を与えることを意識している。</p>

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

椎名賢太郎

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	業界関係者等の識者ならびに本校教職員から成る教育課程編成委員会を開いて協議し、より良い課程編成を目指す。	教育課程編成委員会での協議・決定された内容を元に、各部門で教育課程を編成する。	より効果的な教育とは何かを常に考察し、教育課程に反映する努力を継続する。	やった、できたの報告のみならず教職員の意見交換も定期的にできている。
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	業界や提携団体の担当者と積極的に意見交換を行い、教育内容に反映させる。	学会や研修会、学外活動への参加を奨励し、外部との接触機会を増やしている。	機会があるごとにヒアリングを行い実現可能なことから積極的に取り入れていく。	令和3年度は新興感染症渦ながらも感染対策を行い、業界団体などの招聘を行うなど外部の意見を聴取する機会を設けた。
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	国家試験合格のみを目標とするのではなく、医療人、商業人としてのキャリア醸成に関わる諸能力の向上を、学生生活の中で学ばせる。	職業教育授業の中で、例えば鍼灸や柔道整復、理学療法といった枠に囚われない職業観を含めた全人的な社会人教育を行っている。	様々な年齢層、社会的背景をもつ者が共に学ぶ環境であるため、教育基準を設定し難い。 2-3年間を通したトータルプランニングとコンテンツの工夫を行っている。	最小限ながら外部からエージェント等の協力を以て就職キャリアガイダンスを実施した。
3-9-4 授業評価を実施しているか	各学年次の科目終了毎に選択式と自由記述による授業評価アンケートを実施する。	授業アンケートを実施し、各教員に個別にフィードバックしている。	評価結果表を教員個別に配布し、その改善工夫を求める。 その改善効果を可視化する方法の案出が必要である。	工夫改善は必要である。教員モチベーションの観点からも可視化については今後も検討の必要がある。

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程編成委員会により様々な協議がされたが、目標達成の程度や施策実施後の効果判定方法などを検討する必要がある。また、具体的なキャリア教育の内容についての意見交換が今後も必要と考える。	専門職業人としてのキャリア教育に必要な基本事項を、まずは凡事徹底していく。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

権名賢太郎

3-10 成績評価・単位認定等

3-10 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価・単位認定の基準については学則で明確にし、教務会の議を経て、事前に学生に提示する。判定結果に齟齬を生じないよう書面での通知・説明を徹底する。	筆記試験・実技試験により成績評価を行っている。一定の評価以上を獲得し、かつ規定の出席数を満たしている者に単位が認定される。既修得単位に対する認定（単位互換）も実施している。	オリエンテーションや学校生活のしおりによって評価規定を事前に提示している。一応の理解は示すものの学生自身が他人事と捉え、その理解不足がみられる。くり返しの面談による個別説明を実施が必要と考えられる。	学校生活のしおり 履修規定 学校ホームページにも掲載。 www.urasen.jp

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価、単位認定に関しては、本校規定に定めた通りに厳格に行われている。既修得単位認定(単位互換)に関しても規則どおりに行われている。成績判定に関する事前情報（定期試験結果等）を本人のみならず保護者へ通知することがある。また単位互換では当該教科における本校での学力が判定できないことから、その対応および対策が必要とされる。	定期試験成績は書面で通知し、現状の認識に乖離が生じないようにしている。認識の曖昧な点に対する積極的な説明を実施している。単位認定に係る重要事項においては書面で通知することとしている。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	椎名賢太郎
--------	-------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	医療課程は認定規則によりカリキュラム内容が規定されているため、そのカリキュラムに則った編成を行う。	医療課程は認定規則に規定された以上の単位数があり、それ以外にも本校独自の演習系授業（統合教育科目）を明確に示している。これにより授業時間内における資格取得対策が可能となっている。 商業実務課程は学生1人PC1台環境により「商業実務専門士」称号に相応しいPC技術と情報教養の取得に努める。	年々高難度化する資格試験に対応するため、低学年における早期の取り組みが必要となってきた。自主学習やグループ学習、補習などを積極的に活用して問題解決及び学力向上に役立てる。	専門臨床系科目については一年次からの国家試験を意識した学習方法を推奨しできている。模擬試験等でも若干ではあるが成果がみえつつある。
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	認定規則に則ったカリキュラム内容に基づいて、国家資格取得のための授業を実施する。	協会模擬試験の実施や3年次における国家試験対策を行っている。臨床実技能力については実技科目内容をより臨床的、実地的な内容にシフトし臨床や業務応用問題に対する解決能力を高めている。	3年次における対策及び学力向上だけでは不十分な部分がある為、1年次から国家試験合格のためのビルドアップ型教育の実施とその効率化が必要である。	3年次後半では学校内外での模試（必修4回）を多く受験させ、個々に学生自身の試験におけるウィークポイントを知らしめることができている。

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>鍼灸科、視能訓練士科は国家試験合格に向けての講義ばかりではなく、国家資格者として恥じない知識構築のための講義、技術習得のための実技や実習ができるカリキュラムを編成している。</p> <p>学力不足または学習能力の低い学生には担任による支援だけでなく、各科の教員全員が補習にあたっている。</p> <p>独自資料の配付などその工夫が行われている。</p>	個別対応や、卒後フォロー教育、国家試験対策を実施している。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

椎名賢太郎

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	養成施設認定規則ならびに学則で定められた教員資格・要件を備えた教員を確保し教育を実施する。	毎年、認定規則ならびに学則で定められた教員資格・要件を備えた教員を確保すべく広く求人活動をしている。	教員の新規採用を公募しており、他校卒業生も入職している。これにより本校出身教員にはよい影響となっている。	資格要件人数とも概ねみたとできています。
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の資質向上のため教員研修計画を定め、適切に運用する。	研修制度を設け、教員個人のキャリアアップだけではなく学生へのフィードバックできるものを検討している。	資質向上においては学内のみならず学外における研修・学術研究会の参加、ワークショップを推奨している。	昨今ではZOOM等を用いた研修会が実施されており、リスクマネジメント講習会などの参加を予定している。
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	各部門（学科）の上位に教務会を設置し、各科においては学科長の下、学科長補佐およびクラス担任を配置し、学生対応が効果的となるよう組織する。	組織図および指揮命令系統を整備。教職員会議において教務会、各科会議内容、各委員会等の報告や連絡を行っている。	各委員会における会議は活発に発言され、様々な改善提案がなされている。	教職員業務分掌 本年は適宜学科会議を実施し各担当の報告・連絡を受け各担当教員の組織体制の整備はできていると考える。

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教員資格・要件を備えた教員は確保するか、十全を目指して努力されている。教員の組織体制も整備されている。</p> <p>臨床経験ないし社会経験の豊富な教員を実技・実習授業に配置している。とくに専任教員には勉強会、研修会への積極的な参加を促し、臨床力・実践能力の向上を目指して活動している。授業評価のよい教員の授業を新人教員が聴講することを推奨している。</p>	<p>学園グループにおいてそれぞれのポジションに対応するウェブ教材を活用している。</p>

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

権名賢太郎

基準 4 学修支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高度情報化社会・知識基盤社会においては、伝統的な授業形式である「知識の伝授」よりも、学習者が自らの創造性を開発することを誘導する学習支援に焦点が当てられる。</p> <p>大学行政管理学会初代会長を務めた孫福弘氏は「教育すなわち学習の主役は学習者としての学生であり、教室での授業の役割は、主として学習者の問題意識の喚起と指導助言機能、ならびに必要なに応じた知的技法の付与におかれ、学習活動の中心部分は、キャンパスや街などの空間で学習者の主体的行為として営まれる」と語っておられる。</p> <p>本学では「教員による良質の授業と同時に、学習者の主体的学習を効果的に支援する」ための取り組みを拡充するとともに、医療人、商業人としてのモラルについても主体的に考えられるよう、仕組みづくりに取り組みたい。</p>	<p>医療分野においても商業実務分野においても、学生の専門技術習得の重要性と同等に価値を認められているのがコミュニケーション能力であり、その重要度は近年ますます高まっている。左欄に記した「学習者の主体的学習を効果的に支援する」ために、教員が授業時間外でも学生の相談に気軽に応じ、アドバイザーとして、カウンセラーとして、時には親代わりとなって学生にコミットする姿勢が高まりつつある。</p> <p>当校が社会人を経験したベテラン中途採用者を多く入れている傾向が、学生を多方面からサポートし、学生の主体的学習、行動を支援するための良い環境を形成していることは、当校の目立った特色、個性となっている。</p> <p>医療過程は新校舎に移転し2年が経過した。新校舎への学生からの評判は良く、また入学希望を含めた見学者も多く訪れている。ドラマの撮影等でも使用されるほど近代的で洗練されたデザインの校舎で学ぶ充実感を学生と共に共感しながら、更なる学習支援を拡充していかねばならない。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	大原 秀徳
--------	-------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	医療課程学科は就職希望者の就職率 100%を目標とする。 商業実務課程学科は2年間で就職率80%を目標とする。	就職相談担当に相談に来る学生に対しては、就職完了までマッチングに関する支援を継続して行っている。 商業実務課程では企業説明会、面接会に積極的に参加させ、履歴書作成や模擬面接試験で個別でも事細かに指導している。特にハローワーク活用を推進し企業情報の収集を密にしている。	医療課程は国家試験に合格した学生については概ね希望どおりの就職ができています。 商業実務課程の留学生の就労ビザ取得は内定企業と連携をはかり（技術・人文・国際）分野の申請が滞りなくできるようサポートしており、令和2年度の就職はコロナ禍で半ばずれこむ状況でも情報IT科は80%を超えそうである。	個別指導記録 学籍カード

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>商業実務課程は、会社説明会や就職相談会を開催している。公共イベントとしての企業説明会・面接会には積極的に参加させ、就職指導担当も会場に出向いて現場指導にあたる。東京・埼玉ハローワークとの協力体制を強化することにより可能性がより高い企業案件を入手することが出来るようになった。</p> <p>その年の企業のニーズを把握するために協力企業の開拓が徐々にできてきており、的確なニーズの把握とそれに合わせた教育の合致が出来てくるものと思う。</p>	<p>本校生の熱心な姿勢は、参加した企業の採用担当から好評をいただいているが、企業が求める学生の知識、能力とくに留学生の日本語の会話力と読解力には未だ隔たりがある。卒業までに企業レベルまで向上させることが急務である。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	大原 秀徳
--------	-------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	医療課程の鍼灸科、視能訓練士科は国試合格率 100%を目指す。	視能訓練士科は合格率100%であった。鍼灸科は合格率87%で、全国平均よりも高い値となっており良好な結果である。 商業実務課程は卒業後もビザ審査待ちの状況が続いているが就職内定率の累算は未だ50%前後に留まっている。	専門学校の最優先課題であるからには、教職員全員が目標と問題意識、当事者意識を明確に持って、ひたすら努めるべし。 コロナ禍長期化で次年度も厳しい状況が継続するが、学生個々のコロナ体験から得た忍耐力とモチベーションの高まりと就活技術の向上を指導し支援していく。	個別指導記録 学籍カード

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
コロナ禍において、学習意欲や精神面で不調が生じないよう定期的な面談や声かけを行い、学習意欲を増進させるよう取り組んでいる。国家試験合格率は引き続き高水準を目指す。	コロナ禍の影響からか、公衆衛生に長けた医療従事者の必要性が見直されている。本校は医療過程を有する学校として普段上での衛生面での教育に力をいれ、資格取得後もスムーズに職場に勤務できるよう目指す。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

大原 秀徳

4-15 卒業生の社会的評価

4-15 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の現状および教育内容の改善という観点から、卒業生の動向について把握する。	<p>医療課程においては同窓会組織や卒業生の勤務先からの在校生への求人状況、卒業生の独立開業の通知、実習受け入れなどを通じて状況等は概ね把握できており、勤務状況は良好である。</p> <p>商業実務課程の卒業生については、勤務先企業の担当者との継続的な情報交換から、好評を得ているケースと早期に離脱するケースが相半ばして聞かれるが、全体的な把握は困難である。</p>	<p>卒業生一人ひとりに毎年勤務状況をヒアリングするのは現実的に不可能であり、また音信不通となるケースも多い。</p> <p>就職説明会や求人等で勤務先企業と接触する機会があるごとに卒業生の実態を地道に把握していかなければならない。</p>	当校へ寄せられた求人票や企業説明会など

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
医療課程においては同窓会組織や求人、実習生受け入れ情報から一部の卒業生の開業状況や勤務状況は把握できており、概ね評価を得ている。商業実務課程の卒業生においては全体的な把握は困難である。	医科・情報科ともにOB・OG勤務先（または設立企業）からの求人は依然として多く、特に有資格者である医療系卒業生の社会的評価は高いものと捉えている。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	大原 秀徳
--------	-------------	-------	-------

基準 5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の特徴である「学生との距離が近い教職員とその教育」においてもっとも重要視しているのが学生支援である。</p> <p>特に専門学校学生は高校新卒生から社会人経験者と年齢層も幅広く、さらに留学生の増加から、国籍も慣習も人生経験もさまざまである。その学生たちが同じ環境で学ぶにはより多くの意見や要望を学生から拾い上げることが必要である。</p> <p>成績不振者、経済的困窮者には担任ではなく多くの教職員が情報を共有し、学生から相談しやすい環境を整備している。</p> <p>経済的支援に関しては浦和専門学校独自奨学金、Jasso(日本学生支援機構)等の紹介を行い経済面から継続的就学を支障が発生しないための施策を講じている。</p> <p>学生は専門分野での資格取得のみならず将来にわたって広く社会に貢献することを念頭に置き、卒業後は人々の健康と業界の発展に寄与する人材をめざす。</p>	<p>クラス担任制度を開校以来導入し、有言実行。学生個々人の学習状況や生活面の相談も受けている。</p> <p>成績優秀者、経済的困難者には学習成績に応じた、学校独自の奨学金（給付型）の導入も定着している。 実際の導入により、学生からも高く評価されている。</p> <p>就職支援に関しては求人票等の情報を学生が自由に閲覧できる状態にしている。さらに就職支援担当者を設置し継続的な支援ができる状況にしている。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	上内 範男
--------	-------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	本校学生に対してよせられる多数の求人票のみならず積極的に求人情報を収集し、個別に就職支援を行い在校時、卒業後を問わず、積極的な指導を行い高い就職率をめざしている。	<p>施術所、医院におけるアルバイトや就職の相談窓口は係の担当者がマンツーマンで相談にのり、就職支援のための環境整備、就職相談会の開催などさまざまな支援を行っている。</p> <p>留学生に対する就職支援としては各種実施される企業合同説明会にも積極的参加をうながし情報の収集指導を行っている。</p>	求人企業の求人票を掲示している。随時更新される求人情報の提供の即時性、スピードアップが今後の課題となっている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>広報事務担当職員やクラス担任が就職等の相談を行っている。進路指導担当教員を配置し個別に就職支援を行っている。</p> <p>また、本校に求人票を提出している施術所、企業を招き、学生とのマッチングをさせる就職相談会なども開催し、一定の成果と評価を得ている。</p>	就職活動の準備段階で個別に支援することにより、個々の希望進路に対する情報の整理が進み、指導に活用できている。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

上内 範男

5-17 中途退学の対応

5-17 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学の前兆である行動（欠席が多くなる等）を早期に把握し、個別に対応することにより退学率を低減する。	学費の滞納、長期欠席、学習意欲の低下による成績不振などの学生に対して、速やかにメールやLINEによる親身な相談、教職員による複数回の面談を実施している。	自身が学校からの連絡を拒否する状況等で、学生と連絡が取れないケースなどもあり苦慮している。また保証人が地方に居住している場合があり、容易に面談機会が得られないこともあるが、その場合でもできる限りの機会をとらえ、相談と説得を行う。	学籍カード 学生住所録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率0%に少しでも近づける努力を怠らない。経済的な事由による退学は事務職員、長期欠席、成績不良による退学は教員が窓口となり、退学に至るまでの早期段階で、教職員と学生がしっかりコミュニケーションを取り、退学を回避する方法を模索し、退学率の低減を図っている。	本校での学習量に関して、入学前のイメージと入学後のギャップにより免許取得の意欲が低下する者が一定数存在する。オープンセミナーや学校説明会等を通して入学前から免許の習得に必要な学習量の理解（イメージ）を高めるための取り組みが必要である。 途中で進路変更を希望する学生には国家資格の意義を伝えて再考を促す。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	上内 範男
--------	-------------	-------	-------

5-18 学生相談

5-18 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	クラス担任制により各学年を運営し、教務部や事務室との密接な連携体制を整えて学生相談に臨んでいる。	学費難や各種ハラスメントなどデリケートな問題に対して相談担当者を定め、可能な限りきめ細かい対応を実施している。担任のみならず学科教員間、事務職員との密接な連携により個別に対応している。	学生間での人間関係のトラブルにどこまで介入すべきか否かの課題がある。 各種ハラスメントに関しては啓蒙と現状認識と実際的な注意を積極的に実践し、1人で苦しみを抱えこむ学生がいないよう気をつける。	教員スタッフの努力と意識向上が、着実に学生との親和効果を上げている。
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	在日する留学生に対する相談体制を整備する。	複数の国からの留学生が在籍するため異なる文化・就学意識を把握し個別に対応している。	在日する留学生は、基礎的な四技能(書く、読む、聞く、話す)が不十分なために授業についていけず、成績不良となる場合がある。個別のより細やかな対応が求められる。	担当教員の、授業を大切にする意志、時間いっぱい使ったの授業姿勢が、3年前より格段の進歩をとげている。ホームルームの実施も定着化している。

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
<p>プライバシーに配慮した相談体制が整備されている。</p> <p>クラス担任制により学生からの相談に対して教務部や事務室との連携を面談等で積極的に行っている。原則的に、学生の相談は複数人で対応することとしている。</p>	<p>留学生は日本に来てから病気にかかり、人知れず重病化したり、感染させたりするケースがあり、日ごろからの健康状態の観察や、声掛けが大切である。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大を契機として、学生も教職員も体と心の健康意識がかってないほど高まり定着しつつある。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	上内 範男
--------	-------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	独自の学費支援制度と、外部の支援制度を知悉し、学生一人ひとりにとって適切な支援方法をアドバイスする。	学費の分納や入学時奨学金制度、鍼灸科は社会人が就学しやすい専門実践教育訓練講座の指定を受けている。 日本学生支援機構奨学金制度説明会や個別の学資ローン説明を行っている。	学校独自の奨学金制度（給付型）を積極的に継続運営する施策を計画している。 日本学生支援機構による給付型奨学金の機関認定を受け	
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健安全法に基づく健康診断を全学年に実施し、その他必要と思われる健康管理上の体制は整備する。	民間の健診センター「一般財団法人日本健康管理協会」に業務委託して全学生に健康診断を行っている。	大きな問題は無いが、健康診断で各種抗体検査の結果から反応が出た学生には個別で担当者が相談を行っている。 職場において既に健診を受けた者にたいしては、その結果の提出を促している。	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	要望があれば、可能な限り十分な支援を行う。	遠方からの通学者が少ないため、学生寮は所有せず、学生マンション（学生寮）斡旋業者に希望者を紹介するという支援にとどまっている。	本校は浦和駅にも近く、沿線には学生向けの賃貸物件が揃う。また近隣には賃貸物件が存在している。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生が学生らしく勉学に勤しめる環境整備に努めている。</p> <p>近郊から通う学生や就労している学生が多く、学生寮などの設備整備やクラブ活動などの課外活動支援は不十分な部分があるのは否めない。</p> <p>しかし浦和は日本有数の文教地区として名高く、図書館等の公共施設、文化施設、商業施設も充実しているので、学生たちには平和な街並みを乱すことなくとけこんで、浦和での生活をエンジョイするよう奨めている。</p> <p>学生たちの満足度は高い。</p>	<p>令和3年3月からは令和2年3月に本校舎近く（本太一丁目）に移転した東校舎を留学生専用とし、新築本校舎を医療系学生専用として稼働させた。現在は両校舎に機能分担し、快適な学校生活を送ることが出来ている。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	上内 範男
--------	-------------	-------	-------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>近年、未成年者の入学が多くなってきているため、保護者には入学式後の保護者向けオリエンテーションの参加を依頼し、学校の教育方針や今後の行事日程の説明と理解を得ている。また、自宅学習の必要性、通学、学費の支援をお願いしている。学費の未納者や不登校者（欠席過多傾向の者）に対しては、早期に保護者と連携をとり、お互いにとって有益な解決策を模索している。</p>	<p>留学生の保護者とは言葉の壁、遠方（国外）という事もあって連携がとりづらい状況にある。</p>

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<p>未成年者の学生に対しては、保護者と適切に連携を取り、教育活動に取り組む。</p>	<p>未成年者の学生における学費未納者、不登校者、成績不良者については、保護者との連携の上、教職員が複数名で個別面談等の対応をしている。</p> <p>原則として本人・保証人・担任・学科責任者の四者面談を実施し、その対応にあたっている。</p>	<p>社会状況から家庭での保護者と学生との対話が少ない傾向がみられる。</p> <p>とくにそのような学生は、本人の就学状況を保護者が把握していないことがあり、問題が生じた場合の説明に苦慮している。</p> <p>家庭における躰に学校も相当部分を担うことが多くみられるようになってきている。</p>	<p>医療課程の日本人学生の家族からは、わが子の勉学環境をよくしたい親心から、依頼と苦情が寄せられることがまま起こるが、話し合いで穏やかに決着することが多い。東校舎への移転と新校舎の期待で、勉学環境が著しく改善したことが大きい。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	上内 範男
--------	-------------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

5-21 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	支援要請内容により、教務、事務にて適宜必要な支援を行う。	卒業生の来校時に面談時間を取り個別の情報収集を行っている。	卒業生の住所変更等に伴う連絡不通があり卒業生への有益な情報が発信できないケースが増加している。令和4年3月卒業生からは同窓会を組織し、積極的情報発信を、と同時に卒業生の継続的情報収集にあたる。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	業界団体等と連携して、卒業生の再教育の機会を積極的に提供する。		産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組む。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	本校は浦和駅の近隣にあり、埼玉県内で社会人が現職を離職することなく通学出来る環境を提供する。	社会人の多くが夜間部に入学できる学科体制は保有する。	セカンドキャリア・キャリアチェンジを希望する社会人には通学や学習に関する事前ガイダンスを実施する。学習そのものが生活の負担にならないように十分に配慮している。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も業界や社会のニーズに応える体制や環境整備を進める。社会人入試を受験しやすい選考システムを充実させ、門戸を広く開くことでキャリアチェンジを支援している。	卒業生とは良好な関係を構築、維持しており、業界の有益情報や入学志望者の紹介等の情報交換を行っている。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	上内 範男
--------	-------------	-------	-------

基準6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>令和3年度は新たに落成した本校舎と東校舎の併用体制の初年度となり、教職員、学生ともども、心機一転、勉学への志を新たにすることになった。令和4年度には別館事務局の改装も完了し、更なる利便性の向上が見込まれる。</p> <p>学外実習・インターンシップ制度の導入や、避難訓練の実施など、学生の学習・安全に関する環境は、制度の面では着実に整いつつあり、実際の運用を進めながら、さらに学生に望ましい環境づくりのための改善を随時行っている。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大や自然災害の頻発あるいは経済と雇用の停滞等、社会情勢と環境の変化に注視し、今後はさらに学内の知力を結集して、全員が協調して対処していく必要がある。</p> <p>大規模災害への備えとしては、災害対策委員会を設置し、緊急時に必要な備品の整備などを進めている。</p>	<p>令和3年度は、新たな本校舎が落成して初めて迎える年度となり、医療分野の学科が主として本校舎を、商業実務分野の学科が主として東校舎を使用する体制を整えた。これに伴い、医療分野においては鍼灸科【午前部】の新設、商業実務分野においてはライフデザイン科【午前部】・ライフデザイン科【午後部】の新設及び情報ビジネス科のクラス増を行い、それに対応すべくコンピュータ等の備品・什器の新規購入を行った。</p> <p>新型コロナウイルスに対する防御体制については、令和3年8月23日から9月10日まで商業実務分野を臨時休校とし、該当日の授業は課題を与え在宅学習させる形をとった。また、クラス内で2名以上のコロナ陽性者が出た際には学級閉鎖の措置をとった。学内感染は確認されなかったものの、関東圏の感染者数の増加に応じて陽性者も増える傾向は見られ、令和4年度においても課題となる可能性は高い。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松田 亮
--------	-------------	-------	------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	在校生に良好な教育環境を提供するため、必要に応じた施設・設備の導入を検討し、実行する。	令和3年度は、医療分野の授業を新たに落成した本校舎で、商業実務分野の授業を東校舎で行った。 医療分野・商業実務分やともども、学生増に十分対応できる備品・什器をそろえ、さらに旧式パソコンへのメモリ増設・HDDからSSDへの置換を行い、遅滞なく授業を進められる体制を整えた。	本校舎、東校舎とも、教育環境は良好であり、安全快適な授業を提供するに足る水準となっている。なお、令和4年度に改装が完了する別館事務局にも教室を設置し、令和5年度から授業を開始する予定である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
新本校舎が完成し、本校舎・東校舎並立体制を開始した令和3年度は、浦和専門学校にとって特筆すべき年度と言える。今後も什器・備品の購入等を進め、よりよい学習環境を整えていく必要がある。	新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない中、感染予防と授業継続を両立すべく、学生の検温のための非接触型体温計の導入や、各教室でのアルコール消毒スプレーの設置などの取組を行った。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松田 亮
--------	-------------	-------	------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習、インターンシップ、海外研修などの制度を整え、外部機関や関連組織と連携し、学生を後押ししていく。	医療分野の学生にとって、現場での実習は非常に有意義である。令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の中、受け入れ先と事前相談を重ねてスケジュールを作成し、実習を実施することができた。 インターンシップ制度は、特に日本での就職を希望する留学生にとって貴重な機会であり、その体験を有意義なものにするよう指導を行っている。 海外研修については、新型コロナウイルスの感染拡大などにより、実施は難しい状況となっている。	新型コロナウイルスの感染拡大は、医療分野での臨地実習を困難なものにしている。今後も実習を継続するためには、受け入れ先とのより良い協力関係を育てていく必要がある。インターンシップ制度についても、同様である。 また何よりも、学生に対してそこで得られるものの大きさを理解させ、積極的な姿勢を持たせることが重要である。	眼科実習手帳

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業人を育てる専修学校にとって、学生に実務現場を体験させる学外実習やインターンシップはきわめて貴重な機会である。また、国家資格の取得を目指す医療分野の学生にとって、新型コロナウイルス感染拡大の状況下でも、臨地実習は必須である。今後も滞りなく実施していかなければならない。	医療課程の学外実習については、コロナ禍にも拘わらず各医療機関から受け入れの了承をいただき、滞りなく実習を完了することができた。 留学生については、新型コロナウイルス感染拡大にともない、インターンシップ制度の利用者が令和2年度に比べて減少した。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

松田 亮

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	いつ発生するかわからない災害に対しては、日常からの備えが肝要である。当校では、防火防災の管理責任者を中心に体制を整え、災害発生時の速やかな対応を可能にしている。	新本校舎および東校舎の耐震性は、解体した旧本校舎と比べ、大きく高まっている。また、年に1回の全校避難訓練（緊急退避行動）、年2回の消防用設備点検など、定期的な取り組みを実施している。	新本校舎は、地域の避難施設としての役割も模索し、断水・停電などへの対応や、備品の充実なども検討していく予定である。 また、東校舎は河川に隣接しており、増水・氾濫への対応を考える必要がある。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	事故発生の防止のみならず、事故発生後にも的確な対応を講じることで、学生を守っていく。	防災安全マニュアル、危険等発生時対応要領などを作成している。緊急連絡網も整備し、変更があれば随時更新している。また、各担任が学生のメールアドレスを確認し、これを利用した連絡も可能としている。さらに、近年増加している電話番号なしのSIMを使用する学生に対する緊急連絡手段として、メッセージアプリも活用している。	防災安全マニュアル、危険等発生時対応要領などに、職員が触れる機会を多く設け、防災意識を高める必要がある。緊急時の連絡については、近年の学生の情報機器使用の現状を踏まえ、電話やメールなどの旧来のメディアの他に、SNSの活用を検討する余地もある。	防災安全マニュアル 危険等発生時対応要領

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校舎・東校舎並立体制を開始した令和3年度は、旧来とは異なる防災・安全体制を整える年度となった。非常放送の実施方法や、新たなに設定した避難経路等を、教職員や学生への周知が必要である。大規模災害に備えた食料・水などの備蓄や、教職員間及び学生への連絡なども、定期的に確認する制度を整えることで、形骸化を防がなければならない。	令和3年度の避難訓練でも、本校舎に隣接するさいたま市立仲本小学校の敷地を利用させていただいた。今後も地域社会との連携を深め、災害時の備えとしていく方針である。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

松田 亮

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 学生募集</p> <p>入学試験の実施については、埼玉県専修学校各種学校協会の基準（申し合わせ事項）に基づいて実施している。</p> <p>学校案内については、在校生・卒業生のメッセージを多く用いると共に、各学科のカリキュラムや学校生活、卒業後の進路や職業について、受験検討者目線でわかり易く伝える事に努めている。</p> <p>オープンキャンパスや学校説明会を多く実施することにより、受験検討者に複数回来校する機会を設け、本校の特色をよく理解した上で入学してもらえるように努めている。</p> <p>オープンキャンパスでは、ボランティアの学生スタッフの協力によって、より学校生活を理解して貰える様、積極的に来校者とコミュニケーションを図り、学校、保護者、受験生の距離を近づけている。</p> <p>学校、学科紹介を目的として、県内外の高等学校を中心に訪問し、進路指導の担当者に説明して受験生の募集を行っている。</p> <p>また高校ガイダンスや進学説明会に積極的に参加し、本校の特色や業界分野をわかり易く伝える事に努めている。少子高齢社会に活躍できる資格や職業であることも魅力となっている。</p> <p>2. 入学選考</p> <p>入学選考は、学則に基づき適正に実施している。選考は入試判定会議を実施し、公平に審査し決定している。また面接においては本人の熱意など、2-3年間の学業に取り組む意欲も重視している。</p> <p>3. 学納金</p> <p>2-3年間に必要な学納金や在学中に必要な教材等の費用も詳しく提示し、情報提供を行っている。</p>	<p>1. 学生募集</p> <p>医療課程学科の受験者数はここ数年漸減する傾向にあったが、令和2年度入学のための受験者はめだっても改善した。新校舎計画が好感をもって迎えられたことと、困難な時代にあっても安定している医療の仕事の価値が見直されていることの影響が大きいと考えられる。</p> <p>今後は、さらに丁寧な本校の特徴をアピールしていくと共に、社会人に対して、わかり易く情報提供し、職業の魅力をしっかりと伝えていく事が重要である。また、保護者が学生と一緒にオープンキャンパスに参加されるケースも増えてきており、家族ぐるみで将来を考えようとする真剣さと問題意識の高さを感じる。当校スタッフも真摯な姿勢で質問・疑問にお答えするとともに、学校が目指す未来の在り方について貴重な啓発を受けている。学校をより良くしたいというモチベーションを高め、実際の改善行動につなげていきたい。</p> <p>商業実務課程において留学生の人気は高まってはいるものの、新型コロナウイルスの影響で日本語学校を卒業する留学生の総数自体が減少傾向にあることから留学生向けの説明会や入学試験実施時期の早期前倒しなどの対策をもとに入学定員に少しでも近づける努力が求められている。授業内容のクオリティの向上や就職情報のより一層の開示など、留学生から選ばれる魅力を備えた専門学校を目指す努力を続けてゆく。</p> <p>2. 入学選考</p> <p>鍼灸科は従来、社会人経験者の入学者が非常に多かったが、近年は高校新卒者の比率が増えている。また視能訓練士科は9割以上は高校新卒者であるが、社会人学生も増えている。3年次に国家資格に挑戦し、全員合格を目指すために、基礎学力と勉強意欲の高い学生を優先的に入学させている。</p> <p>今まで以上に個人情報取り扱いに留意し、おり、高校の進路指導担当者との連絡をとりあいながら情報収集を行っている。</p> <p>3. 学納金</p> <p>従来の日本学生支援機構の奨学金制度の説明や国の教育ローンの他、学校独自の家計困窮者を対象とした奨学金制度を創設した。複数の奨学金制度を活用し易く情報提供していく事が必要と考えている。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	太田 敦
--------	-------------	-------	------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	いつ発生するかわからない災害に対しては、日常からの備えが肝要である。当校では、防火防災の管理責任者を中心に体制を整え、災害発生時の速やかな対応を可能にしている。	新本校舎および東校舎の耐震性は、解体した旧本校舎と比べ、大きく高まっている。また、年に1回の全校避難訓練（緊急退避行動）、年2回の消防用設備点検など、定期的な取り組みを実施している。	新本校舎は、地域の避難施設としての役割も模索し、断水・停電などへの対応や、備品の充実なども検討していく予定である。 また、東校舎は河川に隣接しており、増水・氾濫への対応を考える必要がある。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	事故発生の防止のみならず、事故発生後にも的確な対応を講じることで、学生を守っていく。	防災安全マニュアル、危険等発生時対応要領などを作成している。緊急連絡網も整備し、変更があれば随時更新している。また、各担当が学生のメールアドレスを確認し、これを利用した連絡も可能としている。さらに、近年増加している電話番号なしのSIMを使用する学生に対する緊急連絡手段として、メッセージアプリも活用している。	防災安全マニュアル、危険等発生時対応要領などに、職員が触れる機会を多く設け、防災意識を高める必要がある。緊急時の連絡については、近年の学生の情報機器使用の現状を踏まえ、電話やメールなどの旧来のメディアの他に、SNSの活用を検討する余地もある。	防災安全マニュアル 危険等発生時対応要領

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校舎・東校舎並立体制を開始した令和3年度は、旧来とは異なる防災・安全体制を整える年度となった。非常放送の実施方法や、新たなに設定した避難経路等を、教職員や学生への周知が必要である。大規模災害に備えた食料・水などの備蓄や、教職員間及び学生への連絡なども、定期的に確認する制度を整えることで、形骸化を防がなければならない。	令和3年度の避難訓練でも、本校舎に隣接するさいたま市立仲本小学校の敷地を利用させていただいた。今後も地域社会との連携を深め、災害時の備えとしていく方針である。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

松田 亮

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	教育機関が必要とする情報は、適切な方法で、速やかに公開・提供する。	教育機関が必要とする情報（就職実績、資格取得実績、必要総学納金額など）は学校案内やホームページで公開し、また広報担当が高校を訪問し、進路指導担当者に直接説明を行っている。 コロナ禍で面会が厳しい場合は資料等は受付へ付託するか発送で対応している。	国家資格合格率や求人数に対する就職率を正確に集計、公表し、迅速な情報提供を行っていきたい。少子高齢社会において活躍できる資格、職業であるという認知をさらに深める取り組みを考えている。 留学生の志望者については、首都圏の日本語学校の先生方と学生たちに定期的に説明会を開催し、学校案内等の資料を配布している。	募集要項 学校案内
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	埼玉県専修学校各種学校連合会の入試選抜基準に基づき実施する。	ホームページや学校紹介サイトなどから情報を開示しており、学校説明会への参加が可能になっている。また高校の進路指導担当者への訪問を通じ募集を行っている。 学校開館日には随時見学・受験相談等可能とした。	高校への認知度を更に高める為に、高校ガイダンスや会場ガイダンスに積極参加している。参加者からの評価は高い。 個別に高校進路指導部担当者へ入学案内を送り学校説明会を定期的に行っている。 コロナ禍での対応としてインターネット媒体（進学関連サイト等）を活用し訴求している。	募集要項 学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入試広報に関する組織を充実し、学校案内、受験者及び保護者や高校への情報提供が密に行われている。 又、資料請求者から出願、入学に至るまでの情報が一元化され情報は統一されている。今後更に学校認知度を高める活動を行っていききたい。	オープンキャンパス等で来校する高校生が増加している為、更に特色のある体験授業を実施し、丁寧かつより身近に本校の特徴を伝える事で高校新卒者の入学を増やしていききたい。また社会人や主婦など幅広い世代に対する学生募集や入学案内などを行っていききたい。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	太田 敦
--------	-------------	-------	------

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	全ての入試において、複数の評価基準を設けており、公平な判断を行っている。	入試判定会議において、任命された委員による判定会議にて選考されている。	面接試験を重要としている為、今後も客観的な評価が出来る面接官の育成を続けていきたい。	入試判定委員合議録
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	埼玉県専修学校各種学校協会の入試選抜基準に基づき実施する。	埼玉県専修学校各種学校協会の入試選抜基準に基づき実施している。	選考結果及び受験者から得た情報を的確に管理すると共に、改善すべき点は教務会等で決定し実施して行きたい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校長、事務長、学科長を中心とし、学科教務担当者が入試判定委員となっている為、この委員で判定会議を行い、適正で公平な選考を実施している。</p> <p>筆記試験で点数基準を定め、さらに面接での評価を踏まえて判断し学力レベルのみでなく、就学意欲、遵法精神なども重視しながら選考している。</p>	<p>今後は平日夜間の学校説明会、休日のオープンキャンパス等を実施し、更に特色のある体験授業として、より丁寧に本校の特徴を伝えることで高校新卒者や社会人の入学を増やしていきたい。</p> <p>平日ならび土曜日、夜間の学校見学・受験相談、土曜日のオープンキャンパス等を実施し、更に特色のある体験授業として、より丁寧に本校の特徴を伝えることで高校新卒者や社会人の入学を増やしていきたい。</p> <p>コロナ対策のため、玄関先で検温、消毒等を徹底し、また体験実習では教室入室時に消毒をするようにしている。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	太田 敦
--------	-------------	-------	------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	月単位で経費構成を把握し、学納金構成に対し、適正に推移しているかチェックする。	経理担当者が、経費処理の際に、部門ごとの集計できる運用方法により、月次で管理している。	現在まで、大きな問題は生じていない為、今後も現状の体制を維持発展させる様に努めて行きたい。	学納金台帳
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	辞退を受付ける期限・連絡先、授業料の返還等については、募集要項に明記し、迅速な対応を行う。	辞退者には辞退届を提出させ、授業料返還等の手続きについて説明するとともに、円滑に遂行できるように体制を整えている。	現在まで、大きな問題は生じていない為、今後も現状の体制を維持発展させる様に努めて行きたい。	募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>ホームページ、学校案内、保護者向けパンフレットを通じ、受験者、又は保護者に対してもわかり易く情報提供が出来る様心がけている。</p> <p>学校説明会ではさまざまなケースに対して個別相談で対応している。また問い合わせ等には納得いただけるよう真摯に対応している。</p>	<p>奨学金制度を含めた学納金の情報が重要になっている為、今後も更なる情報共有を図って、受験者や学生に適切なアドバイスが出来る様に実施して行きたい。また学生の修学意欲に応えられるような取り組みを検討している。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	太田 敦
--------	-------------	-------	------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校法人会計基準及び学園寄付行為に則り、会計年度終了後、二か月以内に学園監事による監査を受け、理事会及び評議員会から承認を得る。</p> <p>学生納付金の確保、固定費用の抑制をはかり、学校の中長期において安定した運営をできる範囲の資金を調達・維持・管理を行う。</p> <p>内部統制に力をいれ、資金の流れを明確にし、複数の承認によって資金を動かすことができるようにすることにより、学園資産の安定化を万全に行う。</p> <p>過去5年間の資金収支、事業活動収支及び貸借対照表の比較、分析を行う。 主な財務比率も算出している。</p> <p>予算策定が財務部主導で行なわれているので、偶発的な費用の発生による予算超過、見込み費用からの不相当がおこりやすく、計画的な予算消化、予算策定が求められる。</p>	<p>令和3年度に本校舎建設工事完了し、全て自己資金で賄ったが、費用削減等に努めた結果、令和3年3月末に比べ、現預金残高はやや増加した。今後の学園運営において十分な資金を確保している。</p> <p>学校の発展に伴い、より精細な財務分析をすすめる必要に迫られている。大規模投資が続いており、資金運用等も含めて、更なる健全化を図る。</p> <p>学生納付金については経理担当者と教員がよく連携し、期日通りの確保をはかった。 現場でのコスト意識の向上、主体的な部門の年間消費費用の算定などが今後求められている。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松本 正
--------	-------------	-------	------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	中長期的な学校の財務基盤の安定を第一に考える。	学園全体の帰属収入が消費支出を上回る状況が続いており、中長期的に安定要因が支配的である。	中長期的な学校の財務基盤の構想に基づく財務計画が必要となる。	2021年度資金収支計算書 2021年度貸借対照表
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握する。	事業活動収支及び貸借対照表の比較、分析、財務比率を算出している。	財務数値の推移の把握だけでなく、経営分析に資して、より安定した学校経営を志向する。	2021年度事業報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員の増加に伴い、人件費等の支出が増え収支のバランスを考慮していく。新校舎設置に伴い、管理する教職員、施設が増加するため、より詳細な財務分析が必要になる。	教職員の増員や新校舎設立により、よりよい教育環境の構築に努めている。学生数の恒常的定員確保を図り、財務の安定を図る。新学科や増設による増員を満たす活動を行う。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

松本 正

8-29 予算・収支計画

8-29 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	年度予算、中期計画は、目的目標に照らして、有効かつ妥当なものとする。	年度予算は有効で妥当なものとなっている。中期的な計画は見込んではあるが、より精度は高める必要がある。	4半期ごと、半期ごとの確認作業で、修正・補正に対応する。	2022年度資金収支予算書 2022年度事業活動収支予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算は年度計画に基づき適切に執行する。	学園内に監査職を設置し、計画的に執行されている。 事業計画に基づく事業報告書を毎年度、理事会、評議員会に報告している。	理事、校長を中心に予算が編成されているが、現場からの偶発的な費用の発生も散見される。現場からの現実的な予算案の提出が望まれる。	2021年度 監事による監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>予算、収支計画は、理事会、評議員会で審議され、作成されている。</p> <p>収入に関しては、予算、計画に近い数字で遂行されるが、費用に関して、コロナ感染予防に関する偶発的な費用の発生や、本校舎においても、予算で計上されていない費用が発生した。</p>	<p>現状、財務上、余裕があるため、予算管理に対して若干の緩みが生じているが、厳しい教育情勢、社会情勢を鑑み、より厳格な予算管理が望まれる。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松本 正
--------	-------------	-------	------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	財務について、会計監査担当職員が随時適切に実施する。	会計監査は、公認会計士による審査と指導を受けている。	校舎が2つになったため、現預金管理、証明書発行など、資産、資金の適切な運用を会計士の指導のもと構築した。	会計士の監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計監査は、公認会計士により公正にて、適切に実施されている。	会計士の監査は適切に実施されており、財務の健全性は保たれている。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

松本 正

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法における財務情報公開の形式に準じて、財務情報公開を実施する。	私立学校法における財務情報を所定の形式でホームページ上に公開している。	財務情報は学園運営の透明性を担保するものであるため、遅延することなく毎年公開することが重要である。	ホームページ内「基本情報」で閲覧可能。 基本情報は年々見易く改良し、財務情報だけでなく多くの学校情報を公開している。

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2020年から現状にかけて、遅滞なく財務情報を公開している。	2017年秋の新理事長就任時より、コンプライアンス重視を最優先事項に掲げ実行している。 財務情報が公にクリアになるとともに、教職員のコンプライアンス意識向上に果たした意義は大きい。

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

松本 正

基準9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、専修学校設置基準ならびに、医療課程においてははり師、きゅう師、視能訓練士等に関する法律、及びはり師、きゅう師、視能訓練士に係わる学校養成施設認定規則、はり師、きゅう師、視能訓練士等に関する法律施行規則に基づき粛々と教育活動を行っている。また、臨床家として生きて行くには、法令遵守の精神とともに経営者の倫理観を養うことの大切さを認識し、授業内外で触発を心がけている。</p> <p>商業実務課程においては令和3年度現在学生全員が海外からの留学生であり、出入国管理法の徹底遵守が求められている。現在本校は適正校基準を7年連続で満たしており、これを今後とも長く維持することが、教職員の最も重要な行動指針となっている。</p>	<p>昨今の社会情勢ならびに世間から求められる学校のあるべき姿を鑑みると、ハラスメントや差別のないクリーンな学校を目指すことが急務である。</p> <p>当校では理事長の号令一下、教職員全員がコンプライアンス意識、ハラスメント防止に努め、互いに注意し合って毎日の職務にあたっている。</p> <p>令和3年度はハラスメント防止宣言を行い、顧問の社会保険労務士事務所による監修のもと、相談窓口の設置・啓蒙活動などを進めた。今後とも、全教職員が襟を正し身を律して法令順守に努める所存である。</p>

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

松田 亮

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

9-32 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	関連する法令を遵守し、適切な学校運営を行う。	関連する法令を遵守し、適切な学校運営を行っている。官庁や有識者からの指示、助言に細心の注意を払い、適切で早急な対応を心がける。	教職員個々のコンプライアンス精神の錬磨向上を継続して行い高めていく。	来簡受付簿 発簡記録簿 書類押印依頼綴等 原議書綴り

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令遵守は当然のことであり、教職員はもとより、学生に対しても適時にオリエンテーションを実施し、指導を行っている。	令和3年7月にハラスメント防止宣言が出され、10月には相談窓口が設置された。教職員同士によるもの、学生に対するものなど、ハラスメントには様々な形があるが、いずれも教職員一人一人が身を正し、働きやすく、学びやすい環境を整えていかなければならない。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松田 亮
--------	-------------	-------	------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	規程に基づき個人情報保護に取り組む。	個人情報をメール送信しない、USBやクラウドなどの外部機器を通じて学外へ持ち出さない、プリントされたものは断裁する、定期的にバックアップする	個人情報を有するデバイスを限定し、外部からの不正アクセスについてはファイアーウォール、ウイルス対策ソフトで対応する	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>個人情報の保護については、個人情報保護法の施行以来一層の厳格さが求められており、その趣旨をよく理解して遵守している。</p> <p>組織等からの情報漏えいについては社会的信用の失墜にもつながるため、厳重に管理していきたい。</p>	<p>個人情報については職員自らがその扱いに慎重になっており、意識は高まっている。</p> <p>インターネットからの情報の不測流出、学校スタッフや学生による不正な漏洩等は未だ起きておらず、しかしいつでも起こりうることを鋭敏に意識して、今後も油断せず正常態を継続していきたい。</p>

最終更新日付

2022年 7月23日

記載責任者

松田 亮

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	文部科学省作成の学校評価ガイドラインに従い体制を整備し、評価を行うべきである。	評価項目毎に自己点検・評価は行われ、自己評価委員会で取りまとめている。	現行の自己評価委員会と学校関係者評価委員会を継続して実施する。両会の緊密な意見交換を行い、評価精度を向上させる。	
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己点検・評価結果は、ホームページにて公開する。	評価項目ごとの自己点検・評価は自己評価委員会で取りまとめて公開している。	速やかに取りまとめて、ホームページ等で公開するプロセスを標準とし、実行する。	学校ホームページに「基本情報」として公開 https://urasen.jp/about/report/
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	文部科学省作成の学校評価ガイドラインに従い体制を整備し、評価を行うべきである。	学校関係者評価の実施体制を整え、令和2年度秋より評価を開始した。	公平不偏な評価をしていただける委員の候補を予め選び、個々に相談、依頼して委員会を組織する。	
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価委員会を設置し、評価結果をホームページに公開する。	令和3年度においては、令和2年度を対象とする学校関係者評価を12月に行ったが、ホームページ上での公開は未だ行えていない。	令和2年度を対象とする学校関係者評価は、速やかに公表する必要がある。	学校ホームページに「基本情報」として公開 https://urasen.jp/about/report/

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学校点検・評価項目について、文部科学省作成の学校評価ガイドラインに沿う形式に取りまとめている。自己評価委員会、学校関係者評価委員会の体制を整備し、実施している。	自己評価委員会、学校関係者評価委員会の体制は整ったが、今後は構成員全員が積極的にコミットして内容の充実を図っていく必要がある。志望生やそのご家族、一般の人々の目を常に意識し、透明で未来志向意識の高い学校経営を行っていききたい。第三者評価委員会の設置も鋭意検討中である。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松田 亮
--------	-------------	-------	------

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育情報に関する情報公開を学内外に対して積極的に行う。	<p>学園生活のルールや教育情報を冊子にまとめ、学生に配布している。</p> <p>学外に対しては、授業やゼミナール等の情報について、授業の取材記事や学生の感想等の定性的な情報も含め、学校のホームページ等で積極的に公開している。</p>	<p>入学・進級時の配布物として、すべての学生に毎年度配布しているが、内容の理解不足もみられるため、繰り返し周知する必要がある。</p> <p>ホームページの情報価値は益々重要度を増しており、令和3年度より、学校ホームページの情報公開欄に、学則、教育課程、シラバス、成績評価基準等、関心が集まる全ての情報を掲載することになった。</p>	<p>学生生活のしおり</p> <p>学校ホームページ</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学内に対しては、新年度ごとに学生に学生生活のしおりを制作・配布し、積極的に教育内容を公開している。</p> <p>学外に対しては、カリキュラム内容はもちろんのこと、授業の取材記事や学生の感想等の定性的な情報も含め、教育活動内容について学校のホームページ等で積極的に公開している。</p> <p>入学検討者に対しても授業見学等は希望があれば随時受け付け対応している。</p>	<p>令和3年度からは新校舎になり、また各学科で独自のホームページを構築するなど、学校の活動を内外に公表する体制が整いつつある。新型コロナウイルス感染症の流行する中、入学希望者に対しては少人数または個別に対応するなどの措置を講じている</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	松田 亮
--------	-------------	-------	------

基準10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の医療課程は地域医療の担い手を育成する教育機関であり、学校としても社会貢献・地域貢献に対する意識は高い。</p> <p>本校の商業実務課程は、少子高齢化の進行で労働力不足が顕著になってきた日本の社会に一人でも多くの有為な人材を送り込むべく、特に留学生の指導において、教職員全員が責任感と使命感をもって業務に取り組んでいる。</p>	<p>29年度の経営体制一新により、より開かれて、より多くの多彩な学生を育て、より広く学校周辺の人々や社会に貢献する、学校作りの方針が確認された。</p> <p>学校周辺の住民の方たちとはより良い友好関係を築き、学生たちの地域へのとけこみ、学生たちが行う臨床実習への参加等を進めている。</p> <p>特に鍼灸科臨床実習では新型コロナウイルス感染症の後遺症（嗅覚障害やめまい症状、全身倦怠感、その他不定愁訴）に対するアプローチを臨床実習授業で地域住民を対象に広く門戸を開いている。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	内田 舜
--------	-------------	-------	------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校の人的、物的資源を活かした社会貢献、地域貢献を積極的に行う。	地域住民を対象とした、健康セミナーや、無料健康相談などを実施している。	地域の要請に効果的に対応するため、対象および募集方法、活動時間などの検討が今後の課題である。	
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	今後、諸外国の教育機関との交流を試みたい。		留学生たちはコロナ禍を経験することで、以前より格段に公衆マナーと自立心が向上した。地域の住民にも徐々に受け入れられ、好感度が増している。 折角の国際交流の種子がここにある。受け身ではなくもっとポジティブな交流や地域貢献を考えて行きたい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は地域医療の担い手を育成する教育機関であり、学校としても附属施術所を中心とした近隣地域および各団体との連携を推進している。健康に関する啓蒙活動、無料健康相談を開催するなど、地域住民の健康維持・増進活動に貢献している。</p> <p>地域社会における様々な要請にも答えるべく必要な整備をすべく努力している。</p>	<p>洪水災害等の避難施設としての期待に応えるため必要な資材備蓄を検討が必要であろう。</p> <p>附属施術所においては、高齢者の健康寿命維持の役に立てるよう、技術の向上と心をつなぐコミュニケーション、また今後増加するであろう新型コロナウイルスの後遺症（嗅覚障害や不定愁訴）に対する研究、アプローチも地域住民、学園関係者を中心に積極的に行っていく。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	内田 舜
--------	-------------	-------	------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	ボランティア活動の情報を紹介し、奨励していく。	各種スポーツ活動、地域活動につながるボランティア活動について、学内掲示等を用いて随時募集を行っている。	内容を検討し、教育編成に組み込むことも検討すべきであるが、まだ積極的な行動に移ってはいない。 各学科で学生同士と教職員とのコミュニケーションは活発になっているので、自発的な動きが期待される。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ボランティアは奉仕の精神を醸成する貴重な機会であるので、その活動は教育活動の一環として位置付けるものとする。	コロナ禍の収束状況をみて、実践を計画している。 具体的には地域貢献に係ることである。

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	内田 舜
--------	-------------	-------	------

基準 1 1 国際交流

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は地域医療の担い手を育成する教育機関であるとともに、留学生の受け入れも積極的に行っており、国際交流は活発である。</p> <p>留学生の受け入れは、そのほとんどが日本国内の日本語学校経由である。日本語学校への訪問活動や説明会等は、頻繁に実施している。</p> <p>その結果、令和3年4月に196名の留学生を受け入れ、進級生と合わせて令和2年5月1日時点の留学生総数は331名であった。新入生を出身国別に見るとベトナムが最も多く、以下中国、ネパールと続いている。合計3ヶ国から受け入れた。一方で、本校学生の海外への派遣は、手掛けていない。</p>	<p>法務省が、入国・在留審査方針上、専修学校に係る在籍管理能力について主に不法残留者の発生率の大小をもって判定する「適正校」の認定について、本校は、平成19年度より留学生の受け入れを始めて以来、毎年継続して認定されており、令和3年度も11月に認定された。</p> <p>新型コロナウイルス感染症は発生から2年以上経っても一向に収束の見通しがたらず、令和4年の夏になっても感染爆発の危機状態にある。</p> <p>コロナ禍の中でも元気を失わず、毎日学校に通って勉学に励んできた留学生たちの学習意欲は我々日本人も学ぶべきとことがある。</p> <p>国際交流の芽はすぐ足元に芽生えている。その芽に実りを与えるのは、沢山の留学生を抱える浦和専門学校と古藤学園の仕事であってもいいではないか。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	内田 舜
--------	-------------	-------	------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
11-38-1 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っているか	東南アジアからの留学生を中心に、日本語学校との提携を重視している	現在28校の日本語学校と、指定校の提携を結んでいる。	日本語学校への指定校制度の周知が不十分で、活用度が低かったことと情報共有のため、指定校とは直接面談を行い、相互理解に努めている。	
11-38-2 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	留学生受け入れまたは、在籍管理等のための入国管理局への取次申請は、取次申請の資格を持った職員が行っている	取次申請の資格を持った職員の人数は4名である。適正校の指定を受けている。2年前から学生の意識教育の観点から取次申請は行わず、学生自らの申請作業への事前アドバイスをしている。	在籍管理については個々の情報を一元管理するためのデータベース化をすすめており、これまで多岐にわたっていた情報を集約管理できる体制が整いつつある。	
11-38-3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整理されているか	学修・生活指導においては出席率、遅刻率を重視している。	出席、遅刻状況を毎日確認している。また、出席不良者への指導は適時行う体制があり、月1回の会議で状況報告を行っている。特に出席率が80%以下の留学生は継続観察指導を行っている。	直接または電話にて状況の確認と出席指導を行っているが、急に出席の途絶える学生や電話連絡の取れなくなる学生とのコンタクトのとり方が問題である。アルバイト先、周辺知人、卒業日本語学校担当者等にコンタクトを取るなど適時行っている。	
11-38-4 学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	国内の企業で活躍できる人材の育成を目指したカリキュラムの実施が重要である。	これまで学園祭や地域イベントの場において、学修成果を発表してきたが、コロナ禍以来3年を無為に過ごした。	日本語資格(JLPT)の表彰制度を実施している。今後MOSを含めたビジネスに必要な資格の取得を授業を通じて啓蒙推進していく。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>若年層日本人の減少とともに、外国人労働者への依存は確実に拡大している。本校は、日本の会社のニーズに応えることのできる人材の育成を重視して、教育活動を行っている。</p> <p>また、日本の会社で仕事を学び 母国に戻って起業をしたり、指導者として活躍できる人材が出てくれることを望んでいる。</p>	<p>日本の企業は留学生をこれまで単純作業の安価な労働力と位置付ける傾向があったが、慢性的に労働力の不足している業界は留学生を人材として社内育成志向が強まってきている。</p> <p>留学生を教育する側もそれを十分意識した教育体制の整備が急務と思われる。</p>

最終更新日付	2022年 7月23日	記載責任者	内田 舜
--------	-------------	-------	------

浦和専門学校 学校評価委員会組織図

